

研究協力をお願い

昭和大学・東京都立大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Cadaver 標本を用いた生前膵臓の慢性病態の病理組織学研究

1．研究の対象および研究対象期間

2023年4月1日から2025年3月31日に解剖実習で使用されたご献体の膵組織を研究に使用します。

2．研究目的・方法

本研究は膵臓の慢性病変の有病率を解析するものです。膵臓の慢性病変には、慢性膵炎・膵線維化、膵臓の脂肪変性、膵上皮内腫瘍性病変や、膵管内乳頭粘液性腫瘍および acinar-ductal metaplasia (ADM)、膵神経内分泌腫瘍などが挙げられます。

膵線維化や、膵臓の脂肪変性は病気とは言えない状態ですが、膵腺管がんの発生リスク因子として注目されており、その発生率や他の慢性病変との相関関係について解明することは膵腺管がんの発症を抑制するために重要です。

このような背景を踏まえ、本研究では解剖学実習で使用した健康なご献体の中から、膵臓を摘出し組織標本を作成、病理学的な検査を行い、生前の膵臓における慢性病変を検出します。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年3月31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料：膵臓

情報の種類：膵臓から組織切片を作成し観察することで、組織学的・病理学的な情報が得られます。

また、ご献体登録情報および死亡診断書から、性別および年齢、死因、傷病名を収集します。

5．外部への試料・情報の提供

本研究で採集した膵臓標本は研究責任者が対象者個人の氏名、生年月日、連絡電話番号、住所等の個人を識別できる情報を削除し、ご遺体番号・性別・年齢・死因を含めた情報に研究用のIDを付与することで符号化します。符号化したご遺体の氏名など他の情報は昭和大学歯学部口腔解剖学講座の外部か

ら切り離されたコンピューター内および USB メモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体である USB メモリにもパスワードを設定し、セキュリティの高いレターパックプラス（赤）を用いて、共同研究機関である、東京都立大学荒川キャンパス共同研究者（易勤）に渡します。

臓器標本の作成から染色までの作業は東京都立大学荒川キャンパス機能形態解析学研究室（385 室）で実施します。研究終了後、すべての標本と切片は昭和大学歯学部口腔解剖学講座に返還されます。

6 . 研究組織

研究代表者	研究機関名：昭和大学	氏名：野中直子
研究責任者	研究機関名：昭和大学	氏名：野中直子
	研究機関名：東京都立大学	氏名：易 勤
共同研究機関	機関名：東京都立大学人間健康科学研究科 FHS 学域 学域長：易 勤	

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯学部口腔解剖学講座 氏名：野中直子

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8153